

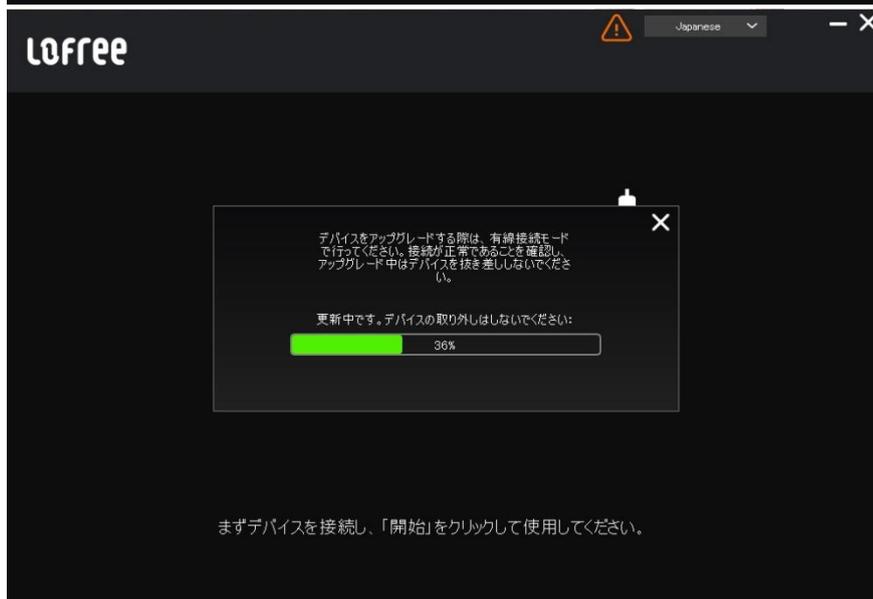
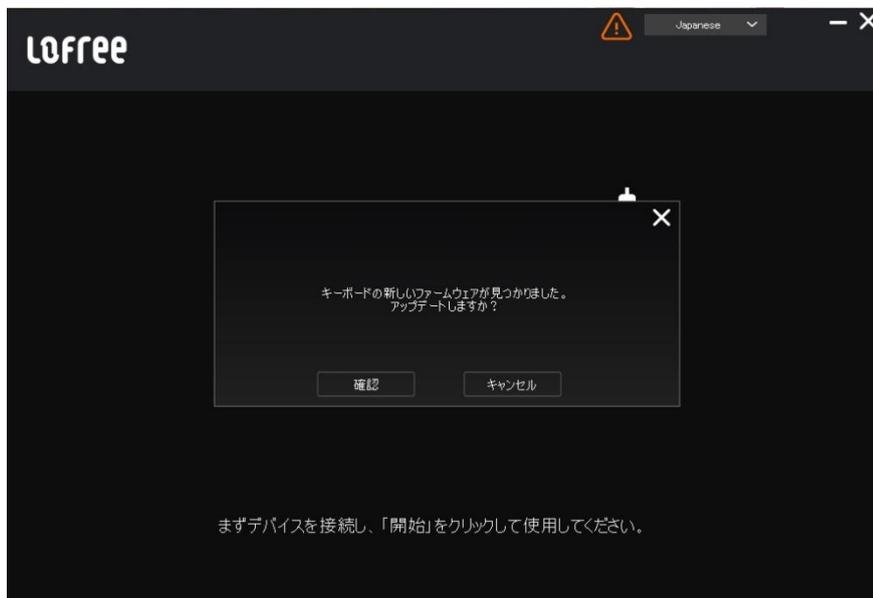
Flow Lite JIS 専用ドライバー：Lofree Key Mapper 使用説明

※動作保証 OS：Lofree Key Mapper は Windows のみに対応します。

ファームウェアの更新

以下の手順に従って、ファームウェアの更新が可能です：

1. キーボード接続：付属の USB ケーブルで Flow Lite JIS 本体とコンピューターと接続します。
2. ドライバー起動：キーボードのドライバーシステムを起動します。
3. ファームウェア更新：ドライバーのインターフェースでファームウェア更新の通知が自動的に表示されます。
4. 更新実行：表示された通知ウィンドウの「OK」を選択して更新を開始します。
5. 更新完了：更新が完了しましたら、デバイスは正常に使用できるようになります。



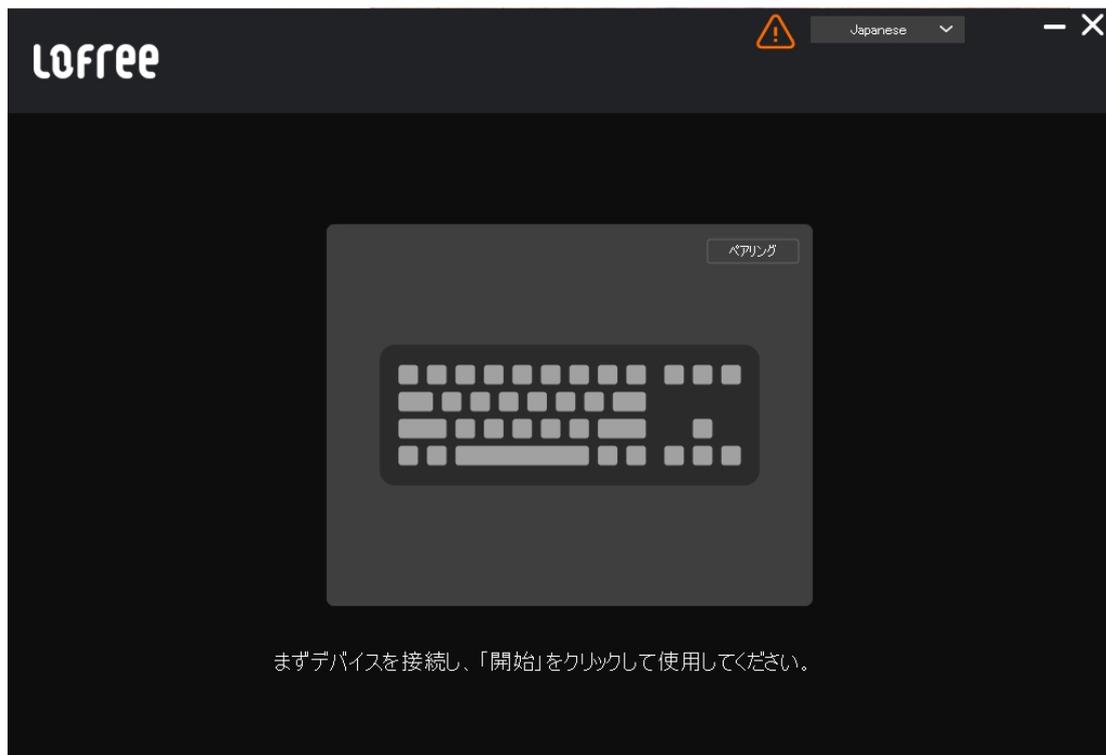
複数のデバイスとの接続

ホーム画面には接続されたデバイスとその接続方式（有線または無線）が表示されます。任意のキーボードアイコンをクリックすると、そのキーボードの設定画面に入ります。あ



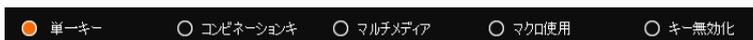
ペアリングとスリープモード

1. 未ペアリングデバイス：レシーバーとキーボードのペアリングがまだされていない場合、「ペアリング」ボタン  をクリックすると、キーボードが正常に使用できるようになります。
2. デバイスがスリープモードに入っている場合、キーボード上の任意のキーを押すとスリープモードが解除され、正常に使用できるようになります。



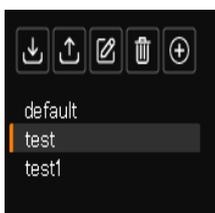
ソフトウェアセクション

1. タイトルバー：左側にブランドのロゴを表示され、中央エリアは機能セクション  |  |  |  の切り替えに使用されます。右上隅にはウィンドウの最小化ボタンと閉じるボタンが表示され、右下隅にはキーボードのバッテリー残量が表示されます。
2. 機能セクション：キーマップのカスタマイズが可能です。リストから単一キー、複合キー、マルチメディア、マクロ使用、キーの無効化などの機能を選択できます。



を押すと個別のキーを初期設定にリセットすることができます。

3. サイドバー：  を押すとホームページに戻ることができます。編集、インポート、エクスポートなどの設定ファイルの操作も可能です。これにより、異なる設定ファイルを保存して適用することができます。



キーマップ設定機能

単一キー、複合キー、マルチメディア、マクロ使用、キーの無効化など、さまざまな機能が必要に応じて選択できます。

- ・単一キー設定：通常のキーのマッピング設定。
- ・複合キー設定：ショートカットキーのマッピング設定。
- ・マルチメディア設定：音量調整や音楽再生などの特殊機能のマッピング設定。
- ・マクロ使用：あらかじめ記録されたマクロコマンドのマッピング設定。
- ・キーの無効化：ミスタッチを防ぐためにキーの機能を無効にします。

1. キーボードレイヤーの切替：Win と Mac のキーボードレイヤーの切り替え、Default と FN のレイヤーの切り替えに対応します、どのレイヤーもキーマップ設定の反映に対応しています。



2. キーマッピング：キーの機能をマッピングし直すことができ、マッピングが完了すると、元のキーの機能は新しい機能に置き換えられます。

3. ホバー表示：マウスのカーソルをキーの上に置くと、現在そのキーに割り当てられている機能が表示されます。

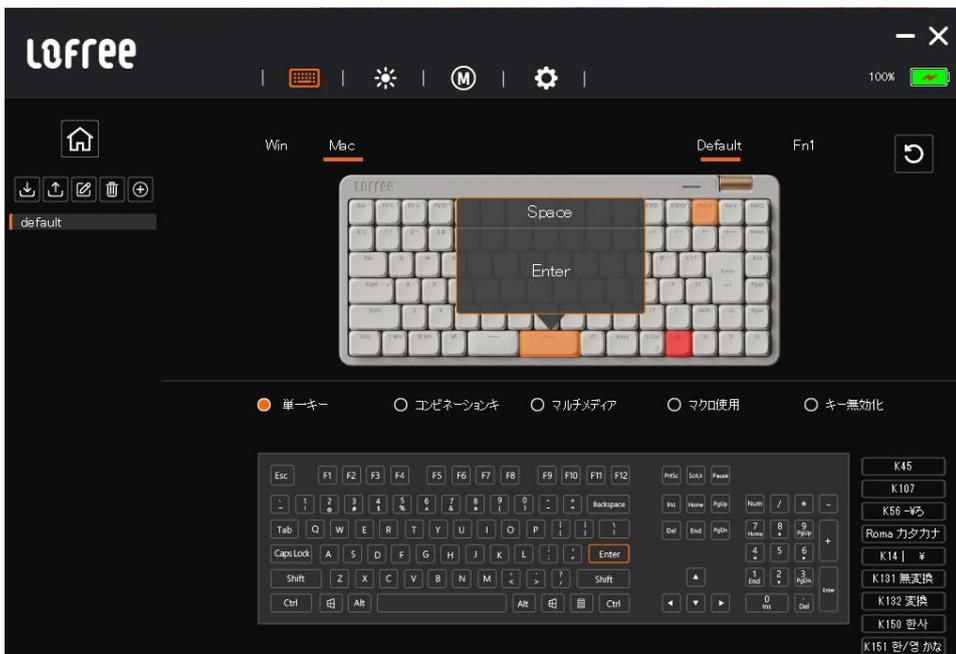


4. キー状態の識別カラー：

グレー：キーの機能が未変更 

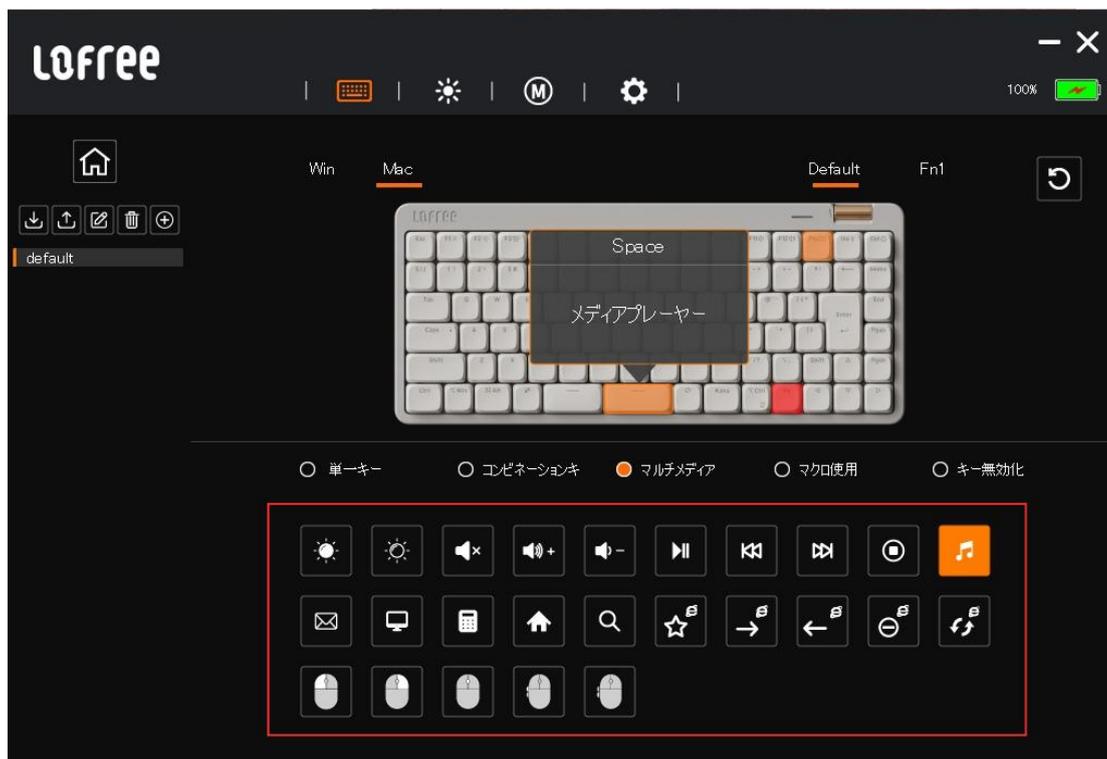
オレンジ：キーの機能が変更済み 

赤色：マッピング不可のキー 



マルチメディア

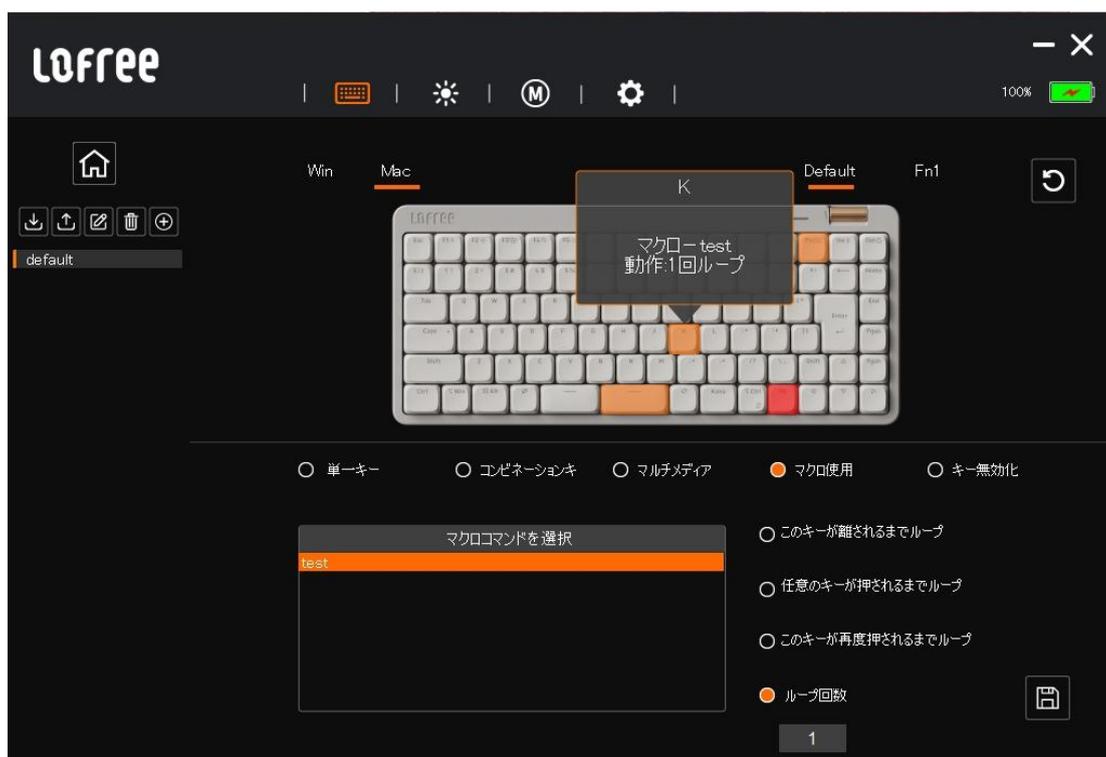
明るさ+、明るさ-、ミュート、音量+、音量-、一時停止/再生、前の曲、次の曲、再生中止、プレーヤー、メール、コンピューター、電卓、ホームページ、検索、お気に入り、ページ送り、ページ戻り、ウェブページ停止、ページ更新、左ボタン、右ボタン、ホイールボタン、進むボタン、戻るボタンなどの様々な機能を設定できます。



マクロの使用

マクロ機能を使用する場合は、あらかじめマクロのレコーディングページでマクロコマンドを記録しておく必要があります。レコーディング後、マクロコマンドのリストが自動的に生成され、コマンドリストから使用したいマクロコマンドを選択することができます。

マクロコマンドを選択した後、保存  を押すとキーストロークに対応するマクロをキーマップに設置することができます。

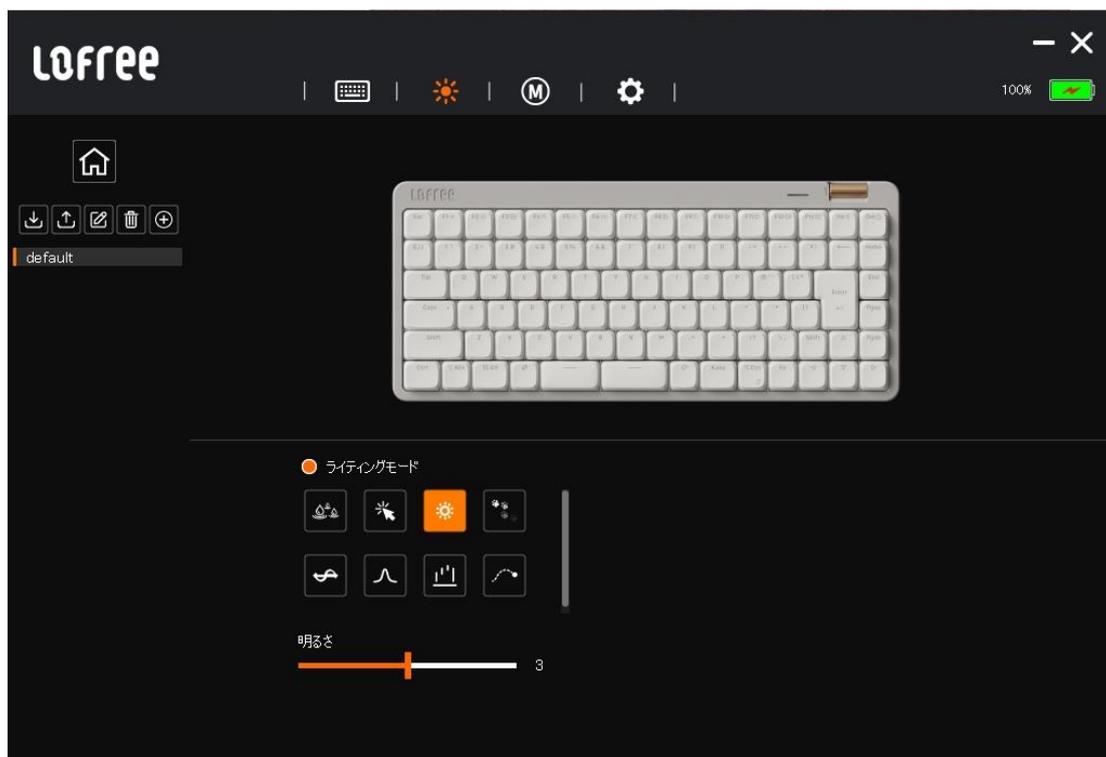


バックライト

以下の仕様を含むバックライトがございます（ドライバーシステムの言語が英語/日本語設定の場合、ライトモードの名称は表示されません）：

1. バックライトモード OFF
2. さざなみ
3. 一触即発
4. 常に点灯
5. 消えていく雪上の足跡
6. 交差する光
7. 明滅
8. ライト OFF
9. 蛇行

好みに合わせてバックライトの明るさと点滅の速度を調整できます。バックライトの変更はすぐにキーボードに反映されます。

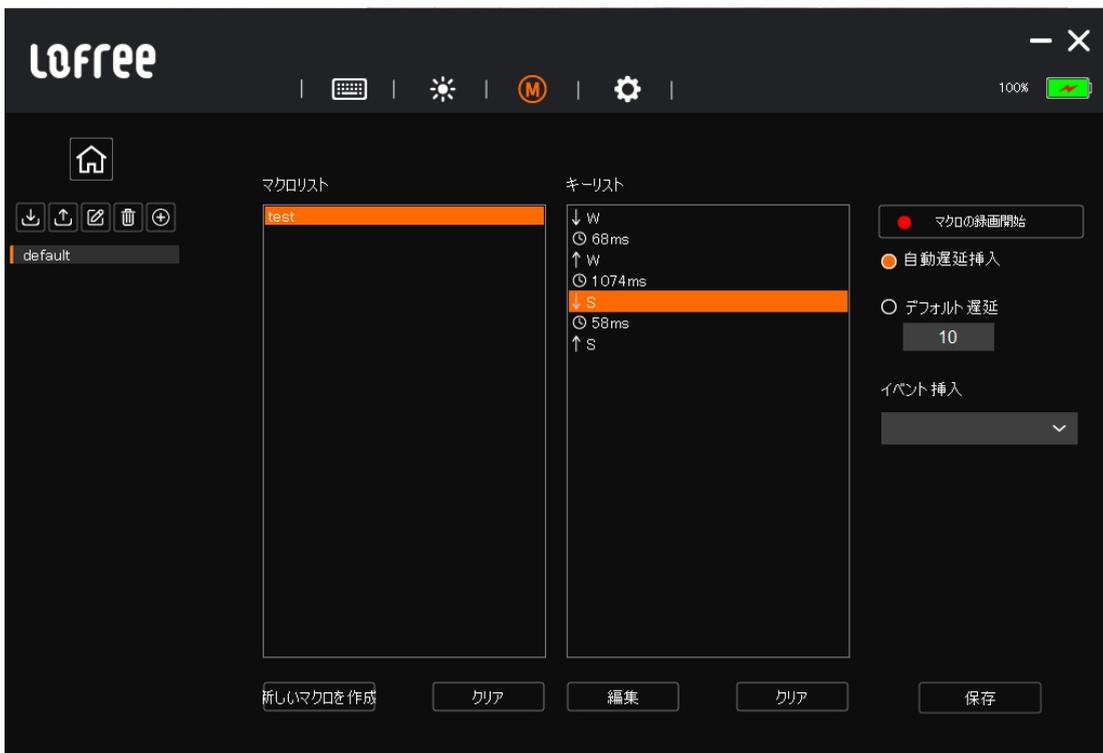


マクロ機能

マクロ機能とは一括操作を自動化するためのショートカット機能です。一連の動作をあらかじめ記録し、その一連の動作を特定のキーに適用することで1つのキーで複数の動作を完結させる機能です。マクロ機能はレコーディングと適用の2つのステップに分かれています。

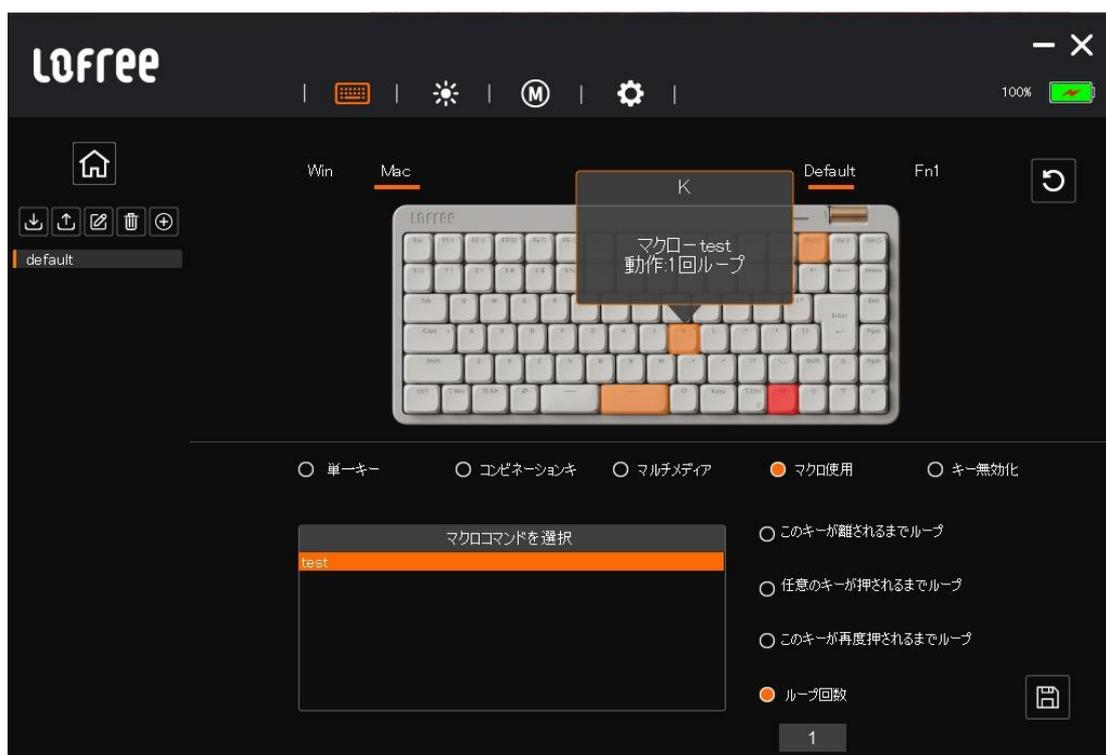
レコーディング

1. 「新しいマクロを作成」ボタンをクリックしてマクロ名を入力します。例:test
2. 「マクロの録画開始」ボタンをクリックします。
3. キーボードの任意のキーを押します。例えばキーボードの「W」キーと「S」キー、あるいは「イベント挿入」のプルダウンメニューからマウスアクションを選択します。
4. 「編集」で挿入したいキーを入力するか、「次のマウスアクション」を選択します。例えば、「S」キーを押した後、デフォルトの遅延時間が自動的に挿入されます。
5. 「マクロの録画停止」をクリックした後、「保存」をクリックしてマクロを保存します。
6. 保存完了後、「test」は W キーと S キーの連続入力を表します。



適用

1. 機能セクションに表示されるキーボードのキーをクリックして「マクロ使用」を選択します。例：「K」のキーをクリックし、「マクロコマンドを選択」のリストにある「test」をクリックした後、保存ボタンをクリックすると設定が保存されます。
2. 保存完了後、「K」のキーを押すと「W、S キーの連続入力」が可能になります。



設定画面

言語選択、デバイス情報、ペアリングツール、ポーリングレート、出荷時設定にリセット、消灯までの静止時間などの機能があります。

- 言語：必要に合わせて表示言語の変更ができます。
- デバイス情報：接続しているキーボードのファームウェア情報を表示し、ファームウェアの更新でデバイスを使用するのに最適な状態に保ちます。
- ペアリングツール：キーボードとレシーバーのペアリングを実行できます。
- ポーリングレート：ポーリングレートを調整できます。
- 出荷時設定にリセット：キーボードの状態をデフォルトの設定に戻すことができます。
- 消灯までの静止時間：好みに合わせてバックライトの自動 OFF 時間を調整できます。
- 起動時自動起動：チェックを付けた後、ドライバーシステムはコンピューターの起動後に起動します。

